

令和5年度九州地区大学等技術研究協議会 議事要旨

1. 日時：令和6年3月1日(金) 12:00~12:50
2. 場所：大分大学理工学部 理工1号館(事務棟)3階 第一会議室
3. 議長：田中久治(佐賀大学) 書記：河端亨(佐賀大学)
4. 出席者：石井大輔, 赤坂泰輝(九州大学), 川原忠幸(九州工業大学), 石井純子(北九州工業高等専門学校), 近藤睦浩(長崎大学), 茂木貴之(佐世保工業高等専門学校), 阿部功, 高橋徹, 原稔稔幸(大分大学), 中川雄伸, 倉田大, 吉永徹(熊本大学), 外山貴子, 金丸慎太郎(宮崎大学), 中村喜寛(鹿児島大学), 勢理客勝則(琉球大学), 比嘉修(沖縄工業高等専門学校)

順不同・敬称略

5. 議題

- (1) 「九州地区総合技術研究会 2024 in 大分大学」の実施状況について

令和5年度開催機関の大分大学・阿部氏から資料に基づいて報告が行われた。

参加登録者について、資料の訂正が行われた。

オンライン参加者が九州地区外から2名増えて52名となったため、オンライン参加登録者が82名から84名へと訂正が行われた。

【参考】

現地参加登録者 157名

(九州地区：大学72名, 高専15名), (九州地区外：大学39名, 高専1名), (大分大学30名)

オンライン参加登録者 84名

(九州地区：大学29名), (九州地区外：大学等52名), (大分大学3名)

この報告について、特に異議はなかった。

- (2) 令和7(2025)年度九州地区総合技術研究会の開催機関について

打診をしている琉球大学・勢理客氏より現状について報告が行われた。

正式な引受はまだ行わないようにと理事から説明を受けたとのことで、本研究会の報告を兼ねて、また確認を行うと報告があった。この報告について、特に異議はなかった。

- (3) 令和9年度以降の開催機関について

田中議長より、宮崎大学、九州大学、熊本大学に開催できるか確認が行われた。

宮崎大学・外山氏より代理出席のため、開催できるか回答できないとの回答があった。

九州大学は、数年前に総合技術研究会を行っているので開催は難しいとの回答があった。

熊本大学は、まだ開催していない機関が優先的に行ってほしいが、どこも開催が難しいのであれば、前向きに検討したいと回答があった。

事務局・吉永氏より順番を意識せず毎年のように意識的に自分の機関で開催できないか前向きに検討してほしい旨の発言があった。開催できそうであれば、事務局に連絡してほしいとのこと。

高専機構が毎年この時期に研究会を開催しているとのこと。調整していかなければならないとの意見があった。

事務局・吉永氏より、150~200名ほど参加する研究会を高専で開催することは可能かとの質問があった。この質問に対して、沖縄高専・比嘉氏より、沖縄高専技術職員は全員で10名であり、どこの高専も単独で開催となると人員的に厳しいのではないかとの回答があった。

以前、沖縄高専で琉球大学と一緒に九州地区総合技術研究会を開催した際には、名護市内の大きいホールで行ったとのこと。

事務局・吉永氏より、ホールを借りた際の費用はどのように工面したのかとの質問があった。
この質問に対して、名護市と沖縄高専との間に協定があり、安く抑えてもらい、不足した分は参加費より工面したとの回答があった。
鹿児島大学・中村氏より、高専機構で開催される研究会は、どれ程の規模なのかとの質問があった。
これに対して、佐世保高専・茂木氏より、開催される場所によるとの回答があった。
鹿児島大学・中村氏より、実験・実習技術研究会を開催しようとした際に難しいと感じた。九州地区総合技術研究会であれば学内でも開催できたと思うが、学外の施設を借用するとなると予算の面等で開催は難しかったらうとの意見があった。
事務局・吉永氏より、高専も参加しての九州地区総合技術研究会なので日程調整を行って開催した方が良いとの意見があった。

(4) 九州地区大学等技術研究協議会未加入の各機関へのご案内について

田中議長より、九州工業大学・井本氏からの情報提供で鹿屋体育大学に1名の技術職員が在職しているとのことだが、ご存知の方がいるかどうか質問があった。
鹿児島大学・中村氏より、連絡を入れる旨の回答があった。
田中議長より、高専の中で加入していない機関があるが、事務局から案内はしているのかとの質問があった。
これに対して事務局・吉永氏より、継続して事務局から案内を行うとの回答があった。
また、九州工業大学・川原氏より、規約等の資料が行き渡っていないのではないかと意見もあった。

(5) その他

・連絡協議員の交代について

事務局・吉永氏より、次年度、交代や追加があれば、事務局まで連絡をするように案内があった。

・九州地区総合技術研究会の規約等の資料について

九州大学・石井氏より、事務局に、連絡協議会を立ち上げた経緯や熱量が伝わるプレゼン形式の資料を作成してもらえると未加入の機関も加入しやすくなるのではないかと意見があった。この意見に対して事務局・吉永氏より、1年かけて作成する旨の回答があった。

以上